

## 論文審査の結果の要旨

氏名：菊 田 潤 子

専攻分野の名称：博士（医学）

論文題名：C型肝炎ウイルス感染による脳形態的变化の研究

-Surface-based Morphometryを用いた検討-

審査委員：(主 査) 教授 亀 井 聡

(副 査) 教授 内 山 真 教授 松 本 直 也

教授 藤 田 之 彦

C型肝炎ウイルス(HCV)の中樞神経障害について頭部 MRI 画像を基に形態的に研究したものである。HCV の中樞神経障害の多くは、精神神経障害で、機能的障害が多くみられる。HCV 感染患者の脳の形態学的評価について、健常群と考えられる形態と比較することを、新しい解析法である Surface-based Morphometry (SBM) にて検討した。SBM は大脳皮質表面を小さな三角形のメッシュ構造に再構築し、個々の大脳皮質表面積、皮質厚、および皮質容積を検討する新しい解析手法である。対象は板橋病院で高分解能 3D MRI 画像が撮られた 1625 名のうち、患者群として慢性 C 型肝炎患者で、抗ウイルス薬治療の既往がなく、肝性脳症がない 11 名と、HIV 陽性や脳の器質性疾患や脳の形態に影響する全身疾患、精神疾患がなく、B および C 型ウイルス非感染患者である 18 名を比較対照として対象にした。結果は、HCV 罹患患者群では対照群に比して、左中側頭回、左上前頭回、左上側頭回、右中心後回の大脳皮質表面積の減少と右下頭頂小葉の皮質の厚さの増加を統計学的に有意 ( $P < 0.001$ ) に認めた。これら変化は、HCV 感染によりもたらされた大脳の形態変化を示唆する結果と考えられた。

よって本論文は、博士（医学）の学位を授与されるに値するものと認める。

以 上

平成30年2月28日